高峰小学校だより　第１６号

みねっこ

愛川町立高峰小学校
愛甲郡愛川町三増７６７
発行責任者　井上真彰
TEL　046-281-0389
令和６年２月１３日発行

烏兎匆匆

高峰小学校長　井上真彰

生物は世代交代を繰り返す中で、稀に突然変異を起こすことで環境変化に適応していきます。人類は７００万年にわたる歴史のほとんどを狩猟と採集をして過ごしており、私たちの心と身体はこの狩猟採集生活に適応するように進化してきました。しかし、ここ１００年程の環境変化は、生物進化の時間の流れに比べると「ほんの一瞬」とも言える急激なものでした。私たちの心と身体はまだこの速すぎる変化に適応できていません。

狩猟採集生活は、獲物や食べられる植物を探して周囲に食べ物が無くなったら集団で別の土地に移動する生活です。こうした暮らしを通じて狩猟採集の知識や道具の作り方、集団生活の決まりなど身に付けるべきことが増えていき、人類の脳は徐々に大きくなっていきました。脳が大きく育つ分、他の哺乳類に比べて未熟な状態で生まれ、大人に依存している期間が長くなっていきました。教えるべき情報は多岐にわたり、親が病気や災害で死ぬことも珍しくありませんでした。そこで人類は「共同繁殖※1」を行い、社会全体で子どもを育てるようになったのです。私たちが他人の子どもでもかわいいと感じるのは、このような生活を７００万年近く続けてきた名残です。

共同繁殖において乳児が大きな声で泣くことは、何か不具合を感じていることを周囲の人に気づいてもらえる利点があります。アフリカで今でも狩猟採集生活を営んでいる人たちの育児を研究した論文によると、２０週までの赤ん坊には世話をする大人が周囲に１４人ぐらいいるという統計があり、赤ちゃんが泣くと１０秒以内に誰かが必ずやってくるので、ずっと泣き続ける赤ちゃんはいないそうです。共同繁殖では、赤ちゃん側に大声で泣いて自分の状態を知らせないといけない理由があり、誰かがすぐに行って泣き止ませる体制が大人側に整っていて、バランスが取れていたのです。

１万２千年前、地球が比較的温暖な間氷期に入ると農耕や牧畜が始まり、財産の概念ができて法律ができ、社会が変化していく中で個人主義が進みました。その結果、現代は育児も家庭で完結させるべきもののように捉えられており、親にも学校や病院といった専門家に仕事として任せる以外、子どもは大勢で協力して育てるものだという感覚はありません。急激すぎる環境変化の中で、赤ちゃんが大きな声で泣く能力は今もそのまま残り、泣いたら誰かが来るという体制だけが無くなっていったのです。

現代は、仕事は辛く大変なことで、楽しいことは余暇にやると分けられていますが、前述の狩猟採集民の人たちは生活の全てを「楽しいからやっている」そうです。狩猟も楽しいし、子どもに小動物や虫の捕り方を教えるのも楽しくて、子どももできることが増えていくのは楽しいそうです。数人で連れ立って道すがらおしゃべりしながら木に登り、地面を掘って食料を探すのも楽しいし、みんなで集まって火を起こし、獲ったものを焼いて食べるのも楽しいのです。そして、赤ちゃんは可愛いのでみんなで世話をします。子育ても楽しみの一つになっているのです。狩猟採集生活は決して楽ではありませんが、丸ごと楽しいものなのです。

先進国と言われる国々で、出生率の低下に歯止めがかからないのは何故なのでしょう。過去の生活を具体的に想像できるのは農耕定住が始まった古墳時代ぐらいまでですが、私たちはそれ以前から続く長い歴史の積み重ねを経て今を生きています。想像できる範囲を超えた過去において、私たちがもともと何を「楽しい」と感じて生きてきたのかに思いを致す必要があるのかもしれません。

高峰小学校は地域と共にある学校です。これからもご支援とご協力をお願いします。

※１【共同繁殖】同種の異年齢集団による世話を特徴とする社会体系のこと。乳幼児は親からだけでなく、家族や共同体の仲間からも世話を受ける。

青星寮カレー

栄養士が「子どもたちが大好きなカレーを学校給食のメニューに取り入れよう」と全国に呼びかけた日にちなんで、１月２２日は「カレーの日」とされています。青星寮とは神奈川県のプロ野球チーム、横浜DeNAベイスターズの若手が生活する寮の名前です。愛川町の給食を調理している業者がこの寮でも調理を担当しており、その縁で寮で出される「青星寮カレー」をこの日にレシピどおりに再現してくれました。大きな具材がいっぱい入ったおいしいカレーに子どもたちも大喜びでした。

避難訓練を実施しました

事前に子どもたちに予告することなく、１月２３日に避難訓練を行いました。実施時刻もわざと休み時間にして、先生の指示ではなく自分で判断して行動しなくてはならない状況を子どもたちに経験させました。今回の能登半島地震も元旦の夕方に発生しており、子どもたちは、災害は時と場合を選ばない事を実感しています。

上の写真は、緊急放送を聞いて不安げに校庭に佇む１年生に、６年生が自主的に声を掛けてまとめている場面です。指示で動くのではなく、その場で最善と思うことを自分で考えて行動できることを嬉しく思います。

新入生保護者説明会を行いました

４月に入学予定の１年生１３人の保護者を対象とする新入生保護者説明会を１月２９日に行いました。学校概要の説明に続き、入学の準備や給食の説明、保健面のお願いや防災パックの準備、メール登録など多岐に渡る内容でした。例年、PTA本部役員の説明を受けてその場で決める学年委員２名は、決まるまでに時間がかかることが多いのですが、挙手で一瞬にして決まって拍手が沸き起こっていました。

みねっこ芸能大会

１月３０日と２月７日の２日間にわたり、ロング昼休みを使って、児童会主催による「みねっこ芸能大会」が体育館を会場にして開催されました。カラオケに始まり、縄跳びの披露やピアノ演奏、ルービックキューブの早回しにマジックの披露、ダンスなど、普段見られない子どもたちの特技に会場は大盛り上がりでした。３人いる審査員の評価も楽しいものばかりで、発表毎に会場の笑いを誘っていました。２日目の最後は６年生全員によるダンス「江南スタイル」で締めくくり、サングラスを渡された先生方も一緒になって踊っていました。

授業参観と懇談会を行いました

２月１日の５時間目に、１年生と２年生、３年生の保護者を対象とした今年度最終となる授業参観と懇談会を行いました。子どもたちは、ご家族を前にしてとても張り切って合唱の披露や長縄、一人ずつ前に立って作文の朗読、班で調べた内容を模造紙に記入して発表していました。引き続き行われた懇談会では、子どもたちの歩みを担任が用意した映像や掲示物などで振り返っていました。この１年間、学校の教育方針と担任の指導方針にご理解とご協力をいただきありがとうございました。

なお、４，５，６年生は２月１５日に同日程で行う予定です。

お知らせ

- ２月１７日（土）の12:40から、愛川町文化会館を会場にして愛川町PTA活動研究大会が行われます。今年はミニ縁日もあるそうなので、お子さんを連れてお気軽に参加されては如何でしょうか。

随時更新しています。
ぜひ、ご覧ください。

ホームページ　ブログ